

## 2019年度第1回中津川市公共交通会議 議事要旨

日 時 2019年6月24日(月) 13:30~14:30  
場 所 苗木交流センター ホール  
出席者 委員23名(うち代理出席9名)、事務局4名、傍聴者2名

### ■開会

#### ■会長あいさつ(大井副市長)

- ・6月議会では、高齢者の交通事故、安全対策、運転免許の自主返納が話題にあがった。どういった支援策があるかを議論し、公平公正な制度を検討していく必要がある。

### ■報告

#### 報告1 総務省 ICT 地域活性化大賞優秀賞受賞について

- ・報告1について説明(事務局)

#### 【意見等】

#### ○福本委員(名古屋大学客員准教授)

- ・中津川の取り組みは全国における先進事例であり注目されている。活性化大賞の会場には全国から協力してくれる方の応援があった。

### ■報告

#### 議題1 中津川市地域公共交通網形成計画の変更について

- ・議題1について説明(事務局)

#### 【質疑・意見等】

#### ○福本委員(名古屋大学客員准教授)

- ・計画書P.18の「タクシー車両のバリアフリー化を推進します」はタクシーだけでなく、バスも含めたバリアフリー化にすべきではないか。車両だけでなくバス停施設の改良もある。

#### ○鈴木委員(岐阜運輸支局)

- ・バリアフリー化は各社の戦略がある。車両に関連して観光施設のバリアフリー化も一体でできるとよい。

#### ○今井委員(株サカガワ)

- ・タクシーのバリアフリー化は購入費がかかるため東濃地方での導入はあまり進んでいない。中小事業者には厳しいので国交省で助成を検討してほしい。

#### ○大井会長

- ・ご意見を踏まえ、事務局で計画書を修正した上で策定とする。

#### 【採決】承認

#### 議題2 生活交通確保維持改善計画について

- ・議題2について説明(事務局)

#### 【質疑・意見等】

#### ○鈴木委員(岐阜運輸支局)

- ・(補足説明)国の補助金を受けるために提出する単年度の計画書。幹線につながる条件を満たした支線が国庫補助対象であり、車両購入も対象となる。第三者評価委員会でのチェックも入る。

#### 【採決】承認

### **議題3** バス乗り継ぎに伴うコミュニティバス運賃の割引について

- ・議題3について説明（事務局）
- ・10/1～3/31までの期間で実証実験。次回公共交通会議で状況を報告する。

#### **【質疑・意見等】**

#### **○福本委員（名古屋大学客員准教授）**

- ・（補足説明）地域間幹線系統は赤字であるが利用が多いので補助金を入れて運行する路線。コミュニティバスはその幹線と接続する支線として運行している。割り引きをすることで利用者を増やしたいという取り組み。
- ・コミバスの利用者で幹線に乗り継ぎ利用をする人が何人いるかはわからない。実証実験期間中に利用がなかったとしても、やめることなく一定期間様子を見る必要がある。

#### **○渡辺委員（明知鉄道株）**

- ・乗り継ぎの時間が合わなければ利用されない。接続するダイヤを考える必要がある。

#### **○福本委員（名古屋大学客員准教授）**

- ・中津川市では乗り継ぎに重点を置いたダイヤにしたら利用が減ったという事例があった。地域での優先順位を考え、利用実態との兼ね合いでダイヤを設定することが必要。

#### **○大井会長**

- ・運転手の負担とならないように実施を。周知をしっかりと行うこと。

#### **【採決】承認**

#### **■その他**

#### **○豊田委員（東海旅客鉄道株）**

- ・新幹線・在来線の運行情報の充実について情報提供

#### **○福本委員（名古屋大学客員准教授）**

- ・トヨタモビリティ財団の助成事業の採択を受け、中津川市でグリーンスローモビリティとICTを用いた地方都市バス活性化実証実験を行う。
- ・7/11に名城大学で日本都市計画学会中部支部のシンポジウムを行う。北恵那交通の北原氏に事例発表をしていただく。

#### **■議事終了**

#### **■閉会**